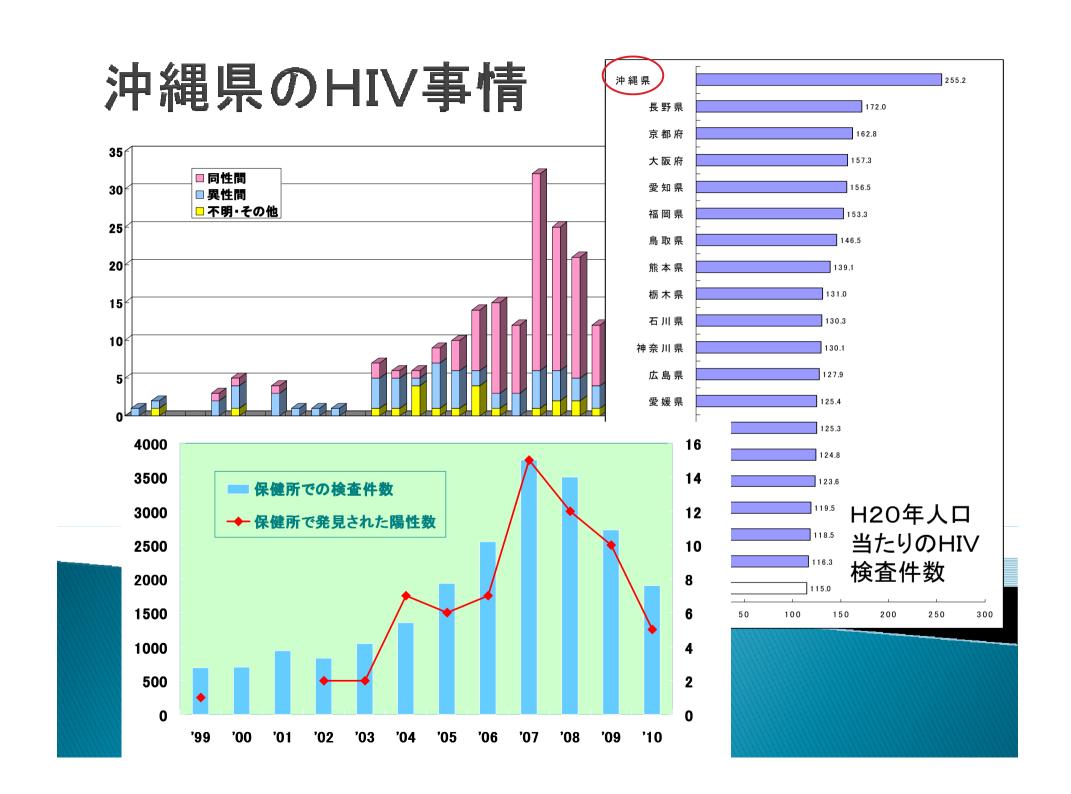
地域の中におけるセクシュアリティーとHIV

沖縄県中部保健所 宮川 桂子



保健所の役割

いずれも、地方都市・諸島 県の難しさあり。どこにも知 り合いがいる・・・

- ▶ HIV検査推進
 - 検査の必要な人に検査に来てもらうためにどうするのか?
 - ・→迅速検査の導入
 - 。→なるべく検査窓口を広げる(時間内、時間外)
- ▶ 個別施錯層(特に男性同性愛者)へのアプローチ
 - 社会の差別の壁に阻まれて、非常に難しい
 - 。→同性愛者とともに活動
- ▶ 陽性者支援
 - 。陽性者・同性愛者への相談窓口
 - 。→陽性者・同性愛者当事者による研修会
 - →エイズカウンセラーによるカウンセリング研修会

HIV陽性者・同性愛者への 差別・偏見を減らす

HIV陰性者、異性愛者となんら区別する必要は無い!

HIV陽性者を区別する必要は無い

- 職場(社会)には、
 - HIV陽性者で周りにも知られている人、
 - 。HIV陽性者とわかっているが周りには知らせていない人、
 - 。HIV陽性だけど本人にもわかっていない人、
 - HIV陰性者、がいる。
- 特殊な例を除いて特別な感染対策は必要ない
 - 。医療機関では、標準予防策
 - 体液(血液、けがをした部分からの出血・浸出液など)に触れる場合は手袋、手洗いが基本だが、健康な皮膚で触る限り、感染はない。手洗いは必要。

HIV陽性者を区別する必要は無い

- ▶ 陽性者は、HIV陽性であることで仕事を失うのではないかと心配している。
- 陽性者は、HIV陽性であることを求職の時に伝えなければならないのだろうかと、悩んでいる。(伝えると仕事が決まらないだろう・・・)

同性愛者(など、性的少数者)について

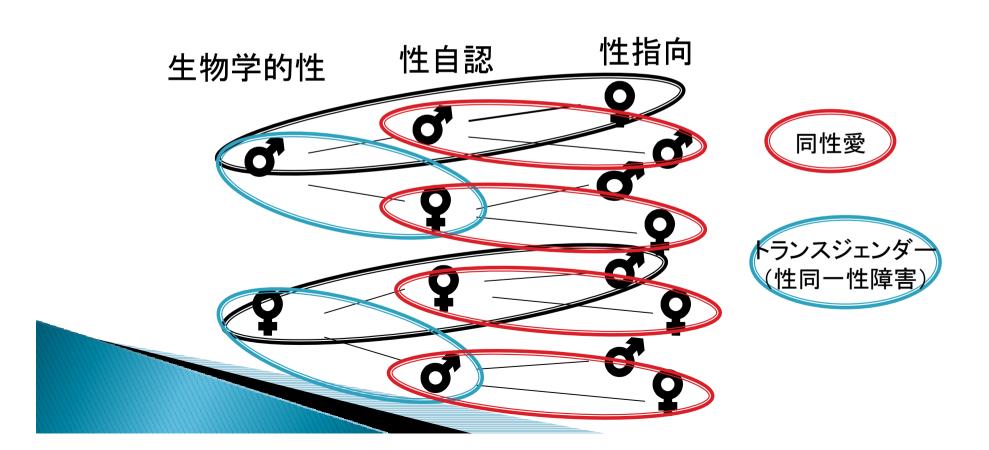
同性愛は異常か?

多様な性のあり方

。遺伝的性、生物学的性

・性自認:自分をどう思うか

。性指向: 恋愛や性行為の対象



同性愛者の割合

| D.Herben et al. | ick | 2010年 (アメリカ) | 4.3~8.0%の男性が過去一年間に男性との性的接触あり 2.0~9.2%の女性が過去一年間の女性との性的接触あり 10%以上の男性が、過去に男性との性的接触あり |
|--------------------|-------|-----------------|---|
| Careres C al | C. et | 2006年 | 男性で男性との性的接触を持ったことのある割合は、東アジアで3~5%、南・東南アジアで6~12%、東ヨーロッパで6~15%、ラテンアメリカで6~20% |
| Sell RL, e | t al | 1995年 | 過去5年間に同性との性的接触を持ったことがあるのは、米 国男性で6.2%、英国男性で4.5%、フランス男性で10.7%、 ゲイ国女性で3.6%、英国女性で2.1%、フランス女性で3.3% |

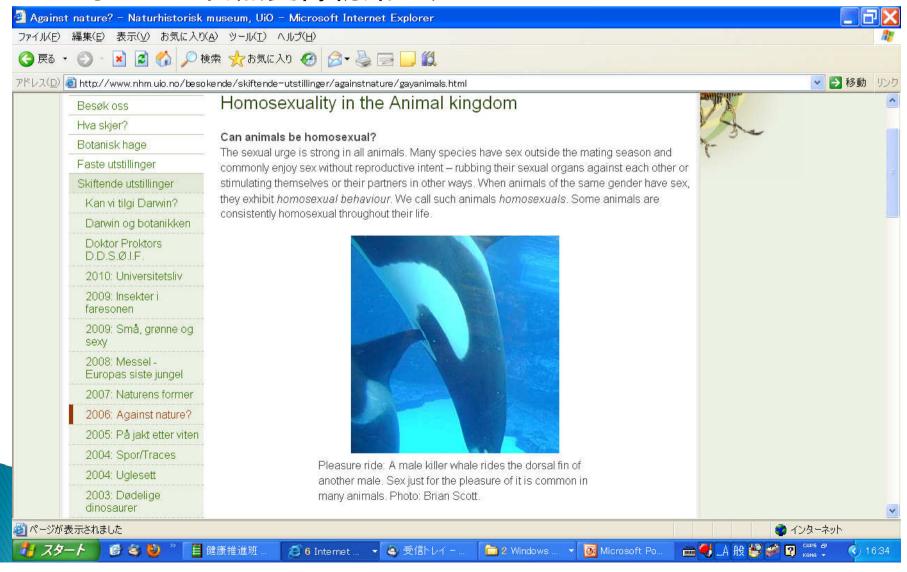
同性愛は異常ではない

- WHOによる、国際疾病分類(10版、1990年)では、 同性愛(homosexuality)は除外され、これは疾病で はないとされた。
- ▶ 1990年5月17日、WHO総会で上記の変更が決定した日を記念して、5月17日を、「国際反ホモフォビアの日」とされている。

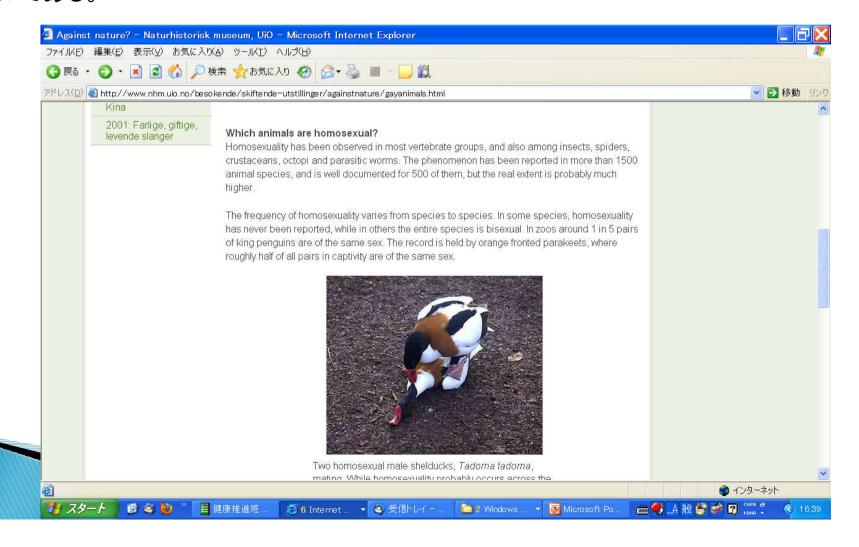
それでも、自然の摂理に反するのでは・・・・

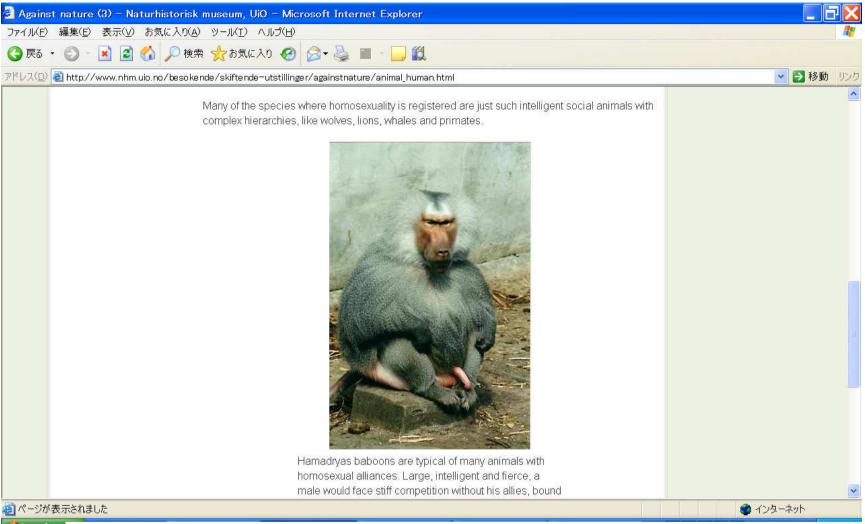
動物の世界における同性愛

~オスロの自然史博物館より~



- 同性愛はほとんどの脊椎動物で観察されており、その他、昆虫や蜘蛛、甲殻類、 蛸、寄生虫など、1500以上の生物で種類でも観察される。実際にはもっと多くの 動物であるだろう。
- その頻度は種によって様々で、ほとんど無いものから、生涯にわたってバイセクシュアルであるものまである。動物園でのペンギンでは、5組に1組が同性のカップルである。





- 🚜 スター
- •人間が属する霊長類にも同性愛は観察される。その頻度は、種や年齢、グループによって様々であり、人間の同性愛はそれらと比較して多すぎることも少なすぎることも無い。
- •同性愛は動物の世界では広く観察されることであり、

自然の摂理に反することではない。

それでもHIV陽性者はねえ・・・

同性愛者はよくわからない・・・

職場や社会で配慮していただきたいこと

- ▶ HIV陽性者や性的少数者が自分の周囲にいる(かもしれない)という意識
 - HIV陽性者・AIDS患者、性的少数者を差別する発言・行動がないかチェック!
- ▶ HIV陽性者や性的少数者がいるとわかっている場合、 特別な配慮はしないこと
- トプライバシーの尊重
 - 職業上知りえる個人情報を他者に漏らすことは絶対にしてはいけない!